

## 鹿島神社大祭

3月3日、佐賀漁港一帯の地域で、漁師の大漁と航海安全、地域の人々の幸せと健康を祈願する鹿島神社大祭が行われました。当日は好天に恵まれ、地域住民が見守る中、男みこしと女みこし、鼓踊り、漁船パレードが奉納されました。

今年も、インドネシアからの漁業研修生や、インターンシップの大学生もみこしの担ぎ手として参加し、祭りを盛り上げました。町を練り歩く道中では、この1年の間に生まれた子どもの健やかな育ちを願うみこしぐりが行われましたが、住民の要望を受けて、赤ちゃんだけでなく高齢者もみこしの下をくぐり抜け、健康をお祈りしました。

また、旧横浜保育所と黒潮一番館では、カラフルな衣装に身を包んだ地元の子どもたちが鼓踊りを披露し、見る人を楽しませてくれました。



## 『黒潮町フェア in 東京駅』を開催しました！

「おいしいキホン。さしすせそ」をコンセプトに、1日に約250万人が利用する東京駅構内の「エキエイト東京ニッコーリーナ」にて、2月18日から3月3日まで、黒潮町フェアを開催しました。

天日塩や米飴といった、素朴だけれどこだわった商品や、新作「きびなごペースト」、甘みがのって水分たっぷりな旬の土佐文旦などの町内産品を展示販売。期間中は、首都圏の多くの方に黒潮町の味覚を堪能していただきました。(産業推進係)



黒潮町から直送された多彩なラインナップの商品。

## 北郷地区で林道にサクラ植樹



植樹したサクラと記念撮影。3月に様子を見に行ってみると、葉が出たものや、花が咲いているものもありました。来年はお花見ができるかも？

2月17日、北郷3地区(本谷・大屋式・大井川)の住民らが、本谷の大近林道沿いにサクラの苗木を植えました。昨年に引き続き2回目で、3地区の役員や老人クラブから約20人が参加し、今年も80本を植樹。サクラが大きくなれば、数百メートルの桜並木になります。また、昨年植えたサクラがうまく根付いてなかった道沿いの広場にも再度植樹しました。

このほか、北郷地区では、休耕田を菜の花やコスモスの花畑にする取り組みも行っており、3月26日には、あったかふれあいセンター北郷の利用者を中心に、お花見ウォーキングを開催しました。

## 中山一志さん句碑が完成

旧大方町の俳人・中山一志さん(本名・中山等、1908〜2002)の句碑が、「中山一志の句碑を建てる会」(宮川昭男会長)により加茂八幡宮境内に建立され、3月17日、除幕式が行われました。中山さんは、旧大方町役場に入ったころから本格的に俳句を始め、1973年からは俳句会「三水会」の指導者として、生涯にわたって尽力されました。

句碑には、句集「斑猫」に直筆で書かれた代表作「みちをしへとるべきみちのふときまり」が記されました。「みちをしへ(道教え)」はハンミョウの別名で、長年句会を導いてきた中山さんご自身の姿とも重なります。

除幕式では、二男の中山次男さんが「父忍ぶ 今日の良い日に桜咲く」と一句詠み、参加者に感謝の言葉を述べられました。

